**パラグアイ内政・外交報告（５月分）**

**政治情勢**

**２０１６年６月作成**

内政では，教育文化省の飲料水・ケータリングサービス等に関する調達スキャンダル及び公立学校の屋根が落下する事故を契機として教育改革を求める高校生が学校を占拠した事件がメディアを賑わせた。両事件の結果，５日，マルタ・ラフエンテ教育文化相が辞任した。

外交では，６日，黄川田政務官がパラグアイを訪問し，ロイサガ外相表敬，議連との会合等を行い，両国の伝統的な友好関係を確認した。また，カルテス大統領が蔡総統の就任式出席のため台湾を訪問し，２０日，首脳会談を行い，両国関係を更に強化することで一致した。

**１　内政**

**（１）ラフエンテ教育文化大臣の辞任**

●教育文化省の飲料水・ケータリングサービス等に関する調達スキャンダル及び公立学校の屋根が落下する事故を契機として教育改革を求める高校生が学校を占拠し，ラフエンテ教育文科相の辞任を要求した結果，５日，同大臣が辞任した。本件経緯は以下のとおり。

＜教育文化省の飲料水のケータリングサービス等に関する調達スキャンダル等＞

●３月，教育文化省が国際会議で使用する飲料水のケータリングサービスが相場以上の高額であったことが報じられた。また，４月２６日，アスンシオン市内の公立学校の屋根が老朽化により落下し，安全上の理由から同校は閉鎖された。

＜高校生による学校占拠＞

●上記事件及び事故を受け，４月２８日，全国学生組織（ＯＮＥ）が４８時間以内にラフエンテ大臣が辞任しない場合は学校を占拠する旨発表。５月３日，アスンシオンのアルヘンティーナ公立学校の生徒が同校を占拠した。その後，同様の動きが，市内の他校及び国内２５校に拡大し，周辺道路が封鎖された。なお，ＯＮＥの要求概要は以下の通り。

- ラフエンテ教育文化相の辞任

- 対ＧＤＰ比７パーセントを教育に充当

- インフラ整備のための予算を教育文化省に割り当て

- 教員研修のための大規模投資

- 公共交通機関における学割料金に関する法律の遵守

＜ラフエンテ教育文化相の辞任＞

●５日午前，ラフエンテ教育文化相は辞任会見を行い，自分は圧力に屈せず，学生の福祉のために資源を節約してきた旨述べ，教員の選定に国家試験を導入したこと，約１０００人の勤務実態のない幽霊職員を解雇した実績を誇示し，これら既得権益を失った者達の存在が本件辞任要求の背景にあると批判した。

●６日，カルテス大統領は同大臣の辞職を受理し，９日，エンリケ・リエラ元アスンシオン市長（２００１-０６年）が新教育文化相に就任した。

＜カルテス大統領とＯＮＥの合意＞

●ＯＮＥは，ラフエンテ教育文化相の辞任後もカルテス大統領との面会を求めて学校の占拠を継続したため，１１日，カルテス大統領はリエラ新大臣と共に約３０名の学生と面談して合意文書に署名し，右を以て一連の学校の占拠は終了した。なお，合意内容の概要は以下の通り。

- 公立学校のインフラ整備に関し,非常事態を宣言する。

　（１６日，カルテス大統領は，公立学校のインフラ整備に関する非常事態を宣言する大統領令第５３００号（１２ヶ月間有効）に署名した。）

- 以下の諸点を協議するための，学生も参加する作業部会を設置する。

　　・教育改革と教育文科省の改善

　　・政府の教育支出の対ＧＮＰ比の増大

（現在は３．５％，ＯＮＥは国連が推奨する７％を要求）

　　・教員の育成

　　・学校給食

**（２）独立記念日におけるカルテス大統領のメッセージ**

●１５日，カルテス大統領は，独立２０５周年に際し，国民向けのビデオメッセージを発出した。カルテス大統領は，同メッセージにおいて，引き続き，汚職の撲滅，公的機関の透明性の向上，格差是正等に取り組む旨述べると共に，右政府の取り組みに対する国民の理解・協力を求めた。

**（３）下院役員の任期延長及び下院役員の再任**

（１）２６日，下院議会において，①下院役員（議長及び副議長）の任期延長（１年から２年半）及び現職の役員の再任が決まった。右により，現職のウゴ・ベラスケス下院議長が２０１８年６月の下院議員の任期満了まで議長を務めることが決まった。

**２　外交**

**（１）黄川田政務官のパラグアイ訪問**

●６日，黄川田政務官がパラグアイを訪問し，ロイサガ外相表敬，議連との会合等を行った。

＜カベージョ筆頭外務次官との会談＞

●６日，カベージョ筆頭外務次官は黄川田政務官との会談を行い，二国間関係につき，幅広く協議を行った。同筆頭次官は，同会談後，記者団に対し，黄川田政務官の今次訪問は，本年３月のロイサガ外相訪日及び昨年の同筆頭次官の訪日のフォローアップを目的とするものである旨述べると共に，二国間関係は成熟期を迎えており，今後は経済・技術協力だけでなく，技術移転や投資に目を向けるべきである旨述べた。

＜ロイサガ外相表敬＞

●同日，ロイサガ外相はパラグアイを訪問中の黄川田政務官との会談を行った。同会談においては，二国間関係のアジェンダについて協議が行われた。なお，パラグアイ側からは，カベージョ筆頭外務次官，アバロス二国間政策局長，ドスサントス多数国間政策局長他，日本側からは上田大使が同席した。

＜下院友好議連との会合＞

●同日，ロメロ・ロア下院議員を会長とする下院パラグアイ・日本友好議連が黄川田政務官との会合を行った。同議連会長は，同会合において，日本人移民の当国発展への貢献は大きく，経済的な貢献のみならず，パラグアイ各地の社会的発展にも大きく貢献してきた旨述べた。これに対し，黄川田政務官は，本年は移住８０周年であり，下院において，同周年が国家の関心事項に指定されているところ，両国間関係の強化に努めたい旨述べると共に，パラグアイは日本にとって大切なパートナーであり，二国間関係が更に強化されることを確信している旨述べた。

**（２）ブラジル情勢に関するパラグアイ外務省プレスリリース**

●ルセーフ大統領の弾劾裁判の開始及び停職に関し，１２日，パラグアイ外務省は，ブラジルにおける法の支配，民主的機関の機能を信頼し，現在進められている制度的手続きを尊重する旨のプレスリリースを発出した。

●１２日，ロイサガ外相は，ルセーフ大統領の停職に関する記者団からの質問に対し，過去（ルゴ大統領弾劾時）に，我々は他国からの内政干渉を拒んだ経緯もあり，引き続き,パラグアイは他国の内政には干渉しないという立場を貫く旨述べた。また，ブラジルとの二国間関係は「平常どおりである（Business as usual）」旨述べた。

**（３）カルテス大統領のアルゼンチン訪問**

●９日，ブエノスアイレスのコロン劇場で開催されたエクアドル地震チャリティーイベントに出席するためにアルゼンチンを訪問したカルテス大統領は，同イベントのマージンにおいて，マクリ大統領との首脳会談を行った。

●両大統領は，同会談において，ヤシレタダムの債務を巡る問題を進展させ，またアニャクア水力発電所建設及びタービンの設置など，完了すべき工事の実施を進める必要性を表明した。また両大統領は，パラグアイ・パラナ航路の開発につき，集中的に協議を行うと共に，常設作業部会の設置に合意した。

**（４）カルテス大統領の台湾訪問**

●１９日，蔡総統の就任式出席のため台湾を訪問したカルテス大統領は，カルテス大統領は，台湾の企業家との会合に出席し，パラグアイへの投資を呼びかけると共に，約６０年間に亘る台湾政府からの援助及び右援助に対するパラグアイ政府からの謝意を強調した。また，同席したロイサガ外相は，パラグアイへの投資に向け，可能な限りの支援を行う意志を表明した。

●２０日，カルテス大統領は蔡総統との会談を行った。カルテス大統領は，会談後，記者団に対し，両国関係を更に強化する旨述べた上で，そのために台湾の援助だけに頼るのではなく，新たな協力分野を模索していく旨述べた。他方で，同席したロイサガ外相は，典型的な援助国と被援助国の関係を越え，両国の間には，繊維産業や自動車部品産業など新たな協力分野が存在する旨述べた。

**（５）ベネズエラ情勢に関する外務省プレスリリース**

●２１日，パラグアイ外務省は，内政不干渉の原則を貫きつつも，ベネズエラ国民が置かれている状況に対する憂慮を表明すると共に，ベネズエラ政府，議会，当局に対し，民主的制度及び法の支配の維持，人権及び表現の自由の尊重を求める旨のプレスリリースを発出した。

●２６日，パラグアイ外務省は，ロイサガ外相がカルテス大統領の命により，ベネズエラ情勢について検証するため，パラグアイがメルコスール現議長国（ウルグアイ）に、外相会合を招集するよう要請する旨のプレスリリースを発出した。

●パラグアイ外務省は，２６日にプレスリリースにつき，メディアにおいて様々な解釈がなされているとした上で，ベネズエラ情勢に関与したくない訳ではなく，むしろ逆で，メルコスール現議長国であるウルグアイが外相会合を招集することを期待しており，当該国情勢に関し，ＯＡＳやメルコスール等の地域，サブ地域ブロックに全面的に参加することを確認する旨の３１日付プレスリリースを発出した。

**３　要人往来**

**（１）来訪**

●閣僚級の来訪なし。

**（２）往訪**

●３日～９日，ソサ労働・雇用・社会保障相，スペイン訪問（労働関係協定署名式出席）

●１４日～１７日，レイテ商工省，スペイン訪問（経済ミッション）

●１６日～１９日，バイアルディ女性相，デンマーク訪問（女性関係会議出席）

●１９日～２０日，カルテス大統領他，台湾訪問（蔡総統の就任式出席）

●１９日～３０日，バリオス厚生相，スイス訪問（ＷＨＯ総会出席）

●２０日～２１日，バイアルディ女性相，フランス訪問（ＯＥＣＤ関係会合出席）

●２３日～２５日，レイテ商工省，フランス訪問（経済ミッション）

●２５日～２９日，レイテ商工省，イタリア訪問（経済ミッション）